



# 駒澤会だまり

第38号

## 新時代を切りひらく 「しなやかな、意思」 をもった、人材育成

学長 各務 洋子  
(駒澤大学駒澤会名誉副会長)

令和5年7月19日  
駒澤大学駒澤会 発行



私は「デジタル化の推進による大学のマネジメント改革」と、「ダイバーシティの尊重による〈個〉を活かす大学の実現」を基本方針として、令和3年4月に駒澤大学学長に就任しました。本学は令和4年10月に開校140年を迎えましたが、その前身である「学林」の設立までさかのぼると、実に430年の歴史の中で、女性として初の重責を担うことになり、これまで「DX(デジタル・トランスフォーメーション)」と「ダイバーシティ」の推進に重点的に取り組んでまいりました。

本学の持つ長い歴史に、「DX」と「ダイバーシティ」の要素を融合させることで、歴史と伝統に裏付けられた学びをアイデンティティとして、新時代を切りひらくために必要となる力を備えた人材を育んでいきたいと考えております。

昭和46年の駒澤会創立の際の、「大学の発展と在校生への支援」の想いは現在までも連綿と受け継がれ、これまで実にたくさんの学生がその恩恵に預かってまいりました。

近年は、新型コロナウイルス感染症という未曾有の事態で、生活が困窮する学生への支援策である「食料品・生理用品支援プロジェクト」に多大なご支援を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

本学は、これからも唯一無二の伝統と価値を礎としながら、デジタル化によって教育・研究の可能性を広げ、新しい時代を創造する駒澤大学であり続けるよう、力を尽くしてまいります。

皆様におかれましては、今後とも本学の教育・研究活動ならびに学生への支援に格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

# 令和5年度 委員総会開催報告

総務部委員 吉久 由起

前日までの雨も上がり晴天に恵まれた令和5年5月20日（土）午後3時半より、駒澤大学246会館の7階会議室におきまして、駒澤大学駒澤会委員総会を開催しました。昨年引き続き対面で開催した本年は、出席者34名（事務局除く）となりました。堀純一郎・総務部長の司会により進行し、冒頭、駒澤会一戸隆男会長よりご挨拶をいただきました。「3年半にわたるコロナ禍もようやく落ち着きをみせ、こうして大勢の皆さんにご出席をいただくことで、今後の様々な楽しい企画に期待ができる」という喜びを述べられ、議事に入りました。

## 【審議事項】

1. 令和4年度各部活動報告の件
2. 令和4年度決算及び基金管理状況報告の件
3. 会計監査報告の件
4. 令和5年度各部活動計画の件
5. 令和5年度予算案の件
6. 令和6年度以降新奨学金制度（案）の件

審議事項については、満場一致で承認されました。各部からの令和5年度活動計画の中では、吉田稔・厚生部長より、6月10日（土）開催の「初夏の親睦会」（成田山新勝寺の参拝と老舗店で鰻をいただく日帰りツアー）へのお誘いと、10月14日（土）～15日（日）に予定している「秋の研修会」（箱根「離宮」泊）、12月9日（土）の忘年会（新宿三丁目の「やまと楽」を予定）の案内がありました。まさに一戸会長から話があった「楽しい企画」が盛りだくさんです。

委員総会後の17時から、4年ぶりとなる懇親会を三軒茶屋キャロットタワー26階のホテルオークラレストラン「スカイキャロット」にて開催しました。「ここ最上階からの素晴らしい眺めのように、駒澤会を見晴らしの良い会に」との一戸会長からのお言葉もあり、遠路はるばる熊本からご夫婦でお越しくださいました会員の方々、また教育後援会から2名の方々にもご出席いただき、総勢32名（事務局除く）の参加となりました。

森屋正治顧問による乾杯の音頭で宴会がスタート。美味しいお料理をいただきつつ、和やかで楽しい宴席となりました。各部メンバー紹介の中では、新しく広報部に1名、総務部に2名の方々に入部いただけるとの嬉しい報告もありました。今後とも駒澤会の様々な活動とともに、こうした親睦を図れる会が実施できますことを心より願っております。

## 【報告事項】

- 令和5年度駒澤会年間行事予定表
- 駒澤会入会者数・奨学金について



< 委員総会 >



< 委員総会後懇親会 >

# 大銀杏に敬意をこめて

駒澤会会長 一戸 隆男

令和5年2月11日、東京・両国国技館にて駒澤大学同窓生の力士で、元小結・松鳳山関の断髪式が行われました。駒澤会では過去に元松鳳山関取材したことがあり、そのご縁によりお招きいただきましたため、会を代表して出席してまいりました。

両国国技館には元松鳳山関の節目に立ち会うべく2006年春場所初土俵の同期だった幕内・竜電、錦木、十両・千代の国や、二所ノ関親方（元横綱・稀勢の里）など角界関係者をはじめとした約430人が集まりました。

駒澤会として取材したのは2014年7月のことで「駒澤会だより21号」にその記事が掲載されています。取材の際に元松鳳山関は、家族との思い出や大学で得た経験やご縁について語り、お母様は3,300gで生まれた息子が中学校から今まで相撲を必死に取り組む姿を、仏様に手を合わせて怪我なく頑張れるよう祈っていると語っておられました。

断髪式が始まると出席者が一人ずつ名前を呼ばれ、元松鳳山関の鬘に鋏を入れていきます。私も計り知れない努力と相撲人生を立派に歩まれたことを物語る背中を前に、労いと敬畏の気持ちを込めて鋏を入れました。元松鳳山関がこの日土俵から見た景色と、私とその背中越しに目にした景色は、同じ景色でも見えているものは違ったことと思います。お母様の輝美さんの名前が呼ばれた瞬間に、顔をくしゃくしゃにして泣き崩れた元松鳳山関の姿に、私も熱くこみ上げるものがございました。入門時の師匠である荒磯親方（元大関・若嶋津）の止めばさみにより、16年間の力士生活に別れを告げられました。

改めて駒澤会に所属し、駒澤大学という共通点により様々なご縁をいただいていることを実感しました。元松鳳山関は引退後、16年余の現役生活のほとんどを過ごした千葉県船橋市内で焼き肉店経営の準備を進めるとのことです。新たなスタートを切った彼を、お店に伺うことで応援したいと思っております。



< 一戸会長が元松鳳山関の鬘にはさみを入れる >



< 元松鳳山関断髪式 (2/11・国技館) >

# 新年賀詞交歓会を開催して

総務部部長 堀 純一郎

令和5年2月11日、セルリアンタワー東急ホテル39階「ルナール」にて、「駒澤会新年賀詞交歓会」を開催しました。同じ会場で昨年6月には駒澤会創立50周年記念祝賀会を開催しましたが、賀詞交歓会はコロナ禍のため3年ぶりの開催となりました。当日は、駒澤会の会員のほか、駒澤大学、教育後援会から、総勢約50名の方々にご出席を賜りました。

赤堀菊絵・駒澤会副会長の司会進行により始まり、一戸隆男会長より3年ぶりに開催できたことの喜びが語られました。来賓として、駒澤会名誉会長の駒澤大学・永井政之総長、駒澤会名誉副会長の駒澤大学・各務洋子学長、教育後援会の久保伸吾会長よりご挨拶いただきました。

永井総長は、「駒澤会は駒澤大学を愛している方々の集まり」との表現で感謝の意を述べられました。各務学長からは、対面での授業も始まり学生の皆さんが生き生きと活動している様子のほか、同窓生のネットワークにより“駒澤経済人会”を発足させることになったことの発表や、今後、デジタル活用とダイバーシティにますます注力していくとの強い思いが語られました。久保会長からは、コロナ禍で思うように活動できなかった中でようやく教育後援会としての活動を本格化させられることになったとの報告がありました。

宴会では、セルリアンタワーならではの美味しいフレンチに舌鼓を打つとともに、大抽選会で盛り上がりました。今回は、商品券のほか、昨年10月にオープンした駒澤大学図書館（新図書館）建設のための大学への寄附金の御礼品を賞品としました（御礼品の対象は駒澤会の会員に限定）。

永井総長は別件があり早めに退席されましたが、会終了後は各務学長との記念撮影を希望する方が続出し待ち行列ができるほど大人気でした。大学当局の方々と間近でお会いできるのは、駒澤会の賀詞交換会ならではのです。このような機会は珍しく、この会が大変貴重な場であることを実感しました。



< 永井政之総長のご挨拶 >



< 新年賀詞交歓会（2/11）  
前列右から4番目が各務学長 >

# 箱根駅伝応援報告

広報部副部長 桐畑 秀司

2023年1月2日・3日に行われた第99回箱根駅伝、駒澤大学が2年ぶり8度目の総合優勝を飾り史上5校目となる『大学駅伝三冠』という快挙を達成した。

2日の往路では強豪ひしめく粘りの走りで往路優勝、3日の復路では6区から激走し一度もトップを譲ることなく大手町まで伝統の襷をつなぎ総合優勝。大学駅伝の締めくくりとして有終の美を飾ってくれた。走った選手はもちろんだがサポートに回り献身的に選手を支えチームが一丸となり掴んだ優勝に感動した。ゴールでの大八木監督の胴上げは監督の駅伝にかける情熱や人柄を思い目頭が熱くなった。その後のインタビューでは来年度に向けた壮大な展望が聞けるのかとたずねたが、藤田ヘッドコーチに監督を任せたい…とのコメントに「せめてあと一年、記念大会まで…」という期待もよぎったが、このタイミングでのバトンタッチは新体制への最高の襷渡しになると英断された大八木監督の決断に敬意を表したいと思った。

ここ数年コロナ禍で応援に自粛要請がかかり厳しい大会が続いた。まだ制限はあるものの間違いなく本来の駅伝応援が戻って来ている。

沿道に溢れる大勢の駅伝ファンは間違いなく選手の背中を後押ししてくれるに違いない。

来年は第100回を記念するメモリアル大会になる。全国の強豪も参加する厳しい駅伝になると思うがまた今年のように優勝のゴールテープを切る瞬間を皆と喜びあいたい。

新体制で望む陸上部の今後益々の活躍に期待すると共に、監督、コーチ、選手の皆さんが万全の状態で開催に望めるよう祈念したい。

祝！



三冠



< 駒澤大学を応援する会 (1/3 駒澤大学同窓会東京都支部主催) 応援指導部ブルーペガサスの学生と銀座ライオン宴会場にて >

# 駒澤大学陸上競技部 大学三大駅伝三冠達成記念祝賀会

広報部部长 齋藤 和子

令和5年3月13日午後6時 セルリアンタワー東急ホテルの宴会場ボールルームには「ランナー・オブ・ザ・スピリット（箱根駅伝テーマソング）」が流れ、場内の大型スクリーンに三大駅伝を走る選手の勇姿が映し出されました。

「箱根駅伝、全日本大学駅伝、出雲駅伝の三つの大学駅伝の全てに勝利を修める事を三冠達成と言います。史上5校目となる偉業を成し遂げた駒澤大学陸上競技部をここにお祝いし、皆さんで喜びを分かち合いましょう。」という平川健太郎日本テレビアナウンサー（箱根駅伝実況担当）の発声で『駒澤大学陸上競技部 大学三大駅伝三冠達成記念祝賀会』が開会しました。

始めに各務洋子学長より関係各位へのお礼と、陸上競技部の選手とそれを支えた大八木監督と奥様へ、感謝の言葉が述べられました。それと共に「選手たちの姿は駒澤大学の建学の精神をそのまま体現させたものです。」とその成果を称えられました。

次に、曹洞宗宗務総長服部秀世老師より祝辞と曹洞宗課外活動特別助成金が大八木監督に授与されました。祝辞の中で老師は選手から次々に出る感謝の言葉について、「悟りに近い心に達しているからこそ出るものである。苦しい練習は禅の修行に通ずるものである。」と仰せになりました。

この後来賓のご挨拶が続きましたが、祝辞の中で皆様口を揃えて、「大八木監督のゲキが、強さの原動力である。」と言われていました。

中でも面白かったのは、関東学生陸上競技連盟の植田恭史様がされた、「箱根駅伝では声かけポイントが決まっているが、これが決められた背景には大八木監督の大きな声が多分に影響している。」という話です。正に大八木監督の声掛けは選手に大きな力を与えるという証明に他なりません。



<鏡開き>

平成の常勝軍団と言われながらも優勝から遠ざかっていた時期も、指導方法を変えるなどして、選手ひとりひとりに向き合い育ててきた大八木監督だからこそ、各々に合った言葉がけができ、選手もそれに答えて最高のパフォーマンスが出来る。その結果が三冠なのだと思えて感じました。鏡開きとマス酒での乾杯の後は、選手たちと一緒に写真を撮ったり、談笑したりと楽しいひと時を過ごしました。宴の半ばには、監督から三

冠に至るまでの苦労話が語られ、また藤田新監督率いる新チームに贈られた言葉には思いの丈が詰まっていて、大八木監督の真面目で温かい人柄を垣間見ることのできた場面でした。

選手代表では前キャプテン山野力くんが応援して下さった方々に感謝の言葉を述べました。その後、東急電鉄から駒澤大学駅にあった応援メッセージと駒澤大学三冠達成オリジナルうちわが選手代表に贈られ、このうちわは参加者にも配られましたので喜んで持ち帰り我が家にも飾ってあります。終盤、応援指導部ブルーペガサスの応援披露があり、大変盛り上がりました。楽しい時間はあっという間で、賑やかだった会も藤田敦史ヘッドコーチの謝辞をもってお開きとなりました。

駒澤会の一員としてこの祝賀会にご招待頂き、駒澤大学にとって悲願であった良き日に立ち会うことが出来たことは、一生の宝物として心に刻まれています。また来年もこの様な席に参加できることを願ってやみません。

この先史上初の三冠二連覇に向けて邁進する駒澤大学陸上競技部をこれからも全力で応援して行きたいと思います。



< 大八木監督と駒澤会役員 >



< 円選手（中央）・田澤選手（右から2番目）と駒澤会役員 >



< セルリアンタワー東急ホテルボールルーム >



< 左：会場に設置されていた大八木監督とツーショットが撮れる顔はめパネル >

# 新井監督(広島東洋カープ)を応援する会報告

厚生部委員 山口 正和

駒澤大学野球部 OB 会で「新井貴浩監督を励ます会」をグランドプリンスホテル新高輪にて開くことになり、駒澤会委員にも招待がありましたので行って参りました。

新井貴浩氏といえば左足を高く上げる独特なフォームが特徴で、2000 本安打の偉業を達成したところをテレビで見えておりましたので、そんな新井貴浩氏を励ます会に出席できるとは。実際にお目にかかったことがないので、どんな方なのか想像し楽しみにしておりました。

12月17日(土)当日のパーティーは新井監督のお祝いに相応しく師走にしては暖かく、真っ青な空、祝福に相応しい晴天日和でした。

コロナ禍で会えなかった方々と久しぶりに会うこともでき、会話が弾むこともしばしば、開場時間まであっという間の楽しいひとときを過ごせました。会場受付を過ぎると、プロ野球界の方々から祝福の花が所狭しと並んでおり、新井監督の人望と偉大さが伺えます。また、駒澤大学野球部 OB の方々もたくさん参加しており、駒澤大学硬式野球部の結束の強さと歴史のある名門チームの層の厚さを感じました。

OB の方々が歓談している中にひと際物静かな方が本日の主役である新井監督でした。最初は先輩方に遠慮されているのかと思いましたが、会が始まりお話を聞いていると新井監督の穏やかな人柄が伝わってきました。新井監督からは駒澤大学での思い出やプロ野球選手を目指したきっかけなどが語られ、自分からプロ野球界に進むことを決め何回もバットを振っていたことなどを聞くと、苦労人とよばれていた理由がよく分かりました。新井監督に続いて、硬式野球部 OB 会会長・元横浜 DeNA ベイスターズ監督の中畑清氏が登場し、さすが盛り上げ上手！な面白い話に会場は大いに盛り上がりました。歓談の際には新井監督の左右に長蛇の列ができ、握手したり一緒に写真を撮ったり、新井監督は嫌な顔一つせず全員と丁寧に会話されていました。私も並んでいたのですが時間切れとなり、話すこともできませんでした。残念無念。

最後には芸能界のお笑いの方々から新井監督を励ますステージショーもあり、楽しいパーティーでした。

締め挨拶では、中畑清氏から「多くの監督時代は6位、5位、5位、6位、でしたが、私を超えることを願っています。」と、笑いも交えた励ましの言葉が贈られました。多くの方々から応援される新井監督。私も、新井氏が監督でいる間は広島東洋カープを応援していこうと思います！  
頑張り、新井監督！



< 新井貴浩監督 >



< 駒澤大学硬式野球部 OB の方々と新井貴浩監督(一番右) >



# 令和5年度初夏の親睦会に参加して

厚生部委員 松田 素子

令和5年6月10日(土)に初夏の親睦会が開催されました。

千葉県成田市の京成成田駅に集合し、参道を歩きながら真言宗智山派大本山である成田山新勝寺へ向かいました。

新勝寺では大本堂にて御護摩祈願に参座させていただき、荘厳な雰囲気の中、バックや財布などをお坊さんに預け、火にかざしてもらいご利益を頂く「御火加持」を体験しました。

その後、ボランティアガイドの方々による境内見学ツアーに参加、お寺や建物等についてお話を聞きながら境内を巡り、とても為になるものが多くありました。

昼食は、江戸時代より続く菊屋でうなぎ料理のコースを美味しく頂きました。そこで長谷部先生によるお話を拝聴し、親睦会を終了、充実した素晴らしい一日となりました。

今回は24名と多くの会員の皆様に御参加頂き、皆様は会を楽しみ、親睦を深められたことと思います。

これからも、是非皆様と共に楽しい駒澤会の活動を続けたいと思っております。



< 6/10 成田山新勝寺ツアー >



< ガイドに続いて成田山新勝寺を隅々まで見学 >



< 菊屋にて一戸会長のご挨拶 >



< 菊屋のうなぎ >

# 駒澤会入会のお声掛け

広報部副部長 山本 久美子

「初桜折しも今日はよい日なり」(芭蕉)

花の便りに心を弾ませる3月23、24日の両日、令和4年度駒澤大学学位記授与式が行われました。コロナの関係で保護者の皆様の参加は3年振りですので、とても感慨深い気持ちになりました。2日間にわたり種月館ロビーにてご来場の保護者の皆様に駒澤会の入会案内のパンフレットをお渡しし、お声掛けをさせていただきました。皆様快く受け取ってくださいました。

午後になり、受付に女性用の眼鏡の落とし物が届きました。「落とされた方が見つかるといいのになあ」と思いつつ入会のお声掛けを続けていると、偶然お声掛けをした方から「眼鏡の落とし物がありませんでしたか？」と尋ねられ、眼鏡をお見せするとその方のものでした。眼鏡が繋ぐご縁で色々とお話させていただき、入会してくださることになり嬉しい限りです。

また、今年初めて4月22日種月ホールで行われた教育後援会卒業委員の会の皆様に、「卒業おめでとうございます。お疲れ様でした。」の言葉と共に、駒澤会からメッセージ付の心ばかりのお菓子をお渡しし、駒澤会への入会もお願いしました。

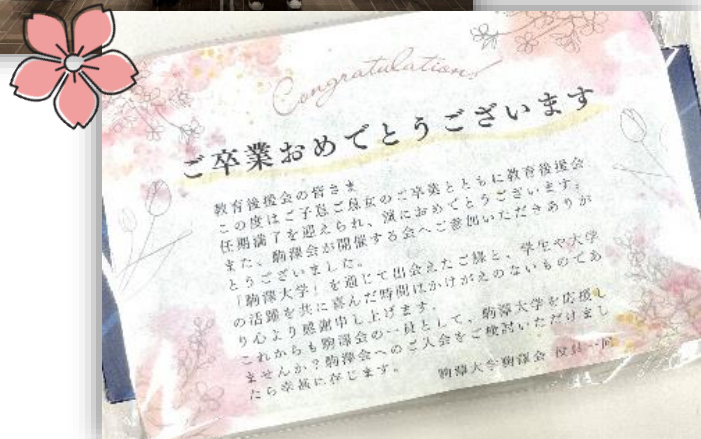
「駒澤大学」から繋ぐご縁を大切に、「駒澤会」もとても素敵な会ですので、多くの方々が入会していただけると幸いです。



< 駒澤会を説明しました >



< 3月23日  
種月館ロビー >



< 教育後援会卒業委員にお渡ししました >

## - 基金管理委員会からのお知らせ -

基金管理委員会より、前回会報にてご報告した以降の運用状況について、以下のとおりお知らせいたします。

運用先	令和4年12月～令和5年6月までの利金	備考
野村証券	121,524 円	みずほ・三菱 UFJ 社債
みずほ銀行	1 円	普通預金利息
世田谷信用金庫	5,593 円	定期預金利息
合 計	127,118 円	

基金管理委員会 委員長

## - 各部入部のお誘い -

駒澤会会員の皆さまに、駒澤会の運営に携わる各部への入部をお誘いしています。

会の運営は、以下の3つの部に分かれて活動しています。2～3ヶ月に1度ほどのペースで会議を行っています。

ぜひ一緒に、駒澤会の活動を盛り上げましょう！入部をお待ちしております。

希望される場合は、駒澤会事務局・谷国（タニクニ）までご連絡ください。

総務部	駒澤会の規程や運営費について検討し、活動がスムーズに行われるよう全体的な調整をしています。
広報部	会報誌「駒澤会だより」の発行やPR活動を中心とし、制作経験の有無にかかわらず、様々な意見を出し合い和やかに進めています。
厚生部	会員の皆さまが楽しく有意義な時間を過ごせるよう、各種行事を検討しています。

## - 入会者ご芳名 -

駒澤会にご入会いただき誠にありがとうございます。新規会員の皆様のご芳名を掲載させていただきます。今回は令和4年12月下旬から令和5年7月初旬までの期間にご入会いただいた方を掲載します。なお、掲載の同意が確認できなかった方は匿名とさせていただきます。

松田 一実 様	北林 卓也 様	猪又 純雄 様	河戸 千秋 様
鈴木 孝仁 様	根本 和子 様	齋藤 孝道 様	他匿名 11名

## ★-☆-★-☆-★-☆ 駒澤会新規会員募集中 ★-☆-★-☆-★-☆

駒澤会では新規会員を随時募集しております。ご友人、お仲間に駒澤大学ご出身のお子さまがいる方はいらっしゃいませんか？

縁のある駒澤大学を応援しつつ、様々な行事を通して楽しく交流しましょう♪♪

広報部 古橋 明尊

駒澤大学としては初めて、史上5校目となる大学駅伝3冠を果たした陸上部の祝賀会と箱根駅伝の応援記。元幕内松鳳山（松谷裕也さん）の涙の断髪式。広島カープの新井貴浩監督を応援する会と、駒澤会だより第38号はスポーツ界で活躍する駒澤大学の現役からOBの報告が盛りだくさんの内容となりました。このほかに、3月のワールドベースボールクラシックで、今永昇太投手が、決勝のアメリカ戦などで好投。侍ジャパンのヘッドコーチを務めた白井一幸氏は、7月にジャニーズ事務所の社外取締役役に就任するなど、様々な分野で卒業生が大学で培った力を発揮しています。

大学のキャンパスに目を向けてみますと、元の図書館で、フランク・ロイド・ライト風の美しいデザインで東京都選定歴史的建造物に指定されている禅文化歴史博物館の隣に、直線的なモダン建築風のデザインが目を引き新しい図書館が去年完成しました。図書館は、大学が持つ貴重な資料を管理するとともに、パソコンなども備えた施設を利用して大勢の学生たちが勉強しています。少子化がますます進み日本の将来は大きな不安に包まれていると思いますが、スポーツのみならず、これからの日本を背負って立つ人材を育てていくことが我々に課せられている課題です。夢多き若者たちの未来に幸あらんことを願い、何か一助でも施せないものかと考える日々です。

## 参与のご紹介

令和5年度も教育後援会の会長・副会長に参与を務めていただきます。



教育後援会会長  
参与 櫻井 秀則



教育後援会副会長  
参与 鈴木 由美子

## 行事予定のお知らせ



### 【大学】

8/1～9/15 夏季全学休業期間  
9/16～ 後期授業開始  
10/15 第141回開校記念日  
11/3～5 オータムフェスティバル

### 【駒澤会】

8/25 教育後援会との懇親会  
10/14～15 秋の研修会 (★)  
10/21 役員会  
※ (★) は案内を同封しております。

## 【駒澤会ホームページのご案内】



駒澤会

検索

スマートフォンはこちらからアクセス →



駒澤大学  
駒澤会



## 駒澤会だより 第38号

発行日：令和5年7月19日

〒154-8525 世田谷区駒沢1-23-1

発行者：駒澤大学駒澤会広報部

TEL：03-3418-9189 / Mail：komazawakai@komazawa-u.ac.jp